

協力機関募集！場所を貸してください！

足立区では、日常の業務の中で高齢者を見守り、気になる方がいたらホウカツへご連絡いただく協力機関を募集しています。活動の一つとして、地域の方の要望に応じて場所の提供などをすることもあります。

協力機関への登録はこちらからどうぞ



ハートぽっぽ

協力機関のハートぽっぽでは、ホウカツからの依頼のもと、うたごえぽっぽという昭和歌謡を合唱する高齢者のグループに、場所と音楽療法士によるピアノ伴奏を提供し、一緒に活動しています。



●ハートぽっぽ社長 佐々木さん

障がいを持つ児童の地域活動を出発点として、45年が経ちました。現在は児童デイサービスで音楽療法も行っています。うたごえぽっぽに場所を提供させていただくのは、昔からの地域活動の延長上にあり、集まっていたいありがとうございます。

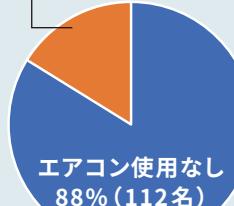
生のピアノ伴奏で歌を歌うのは初めてだという方も多く、皆様と一緒に楽しく活動できるのが何よりもうれしいです。

●うたごえぽっぽ代表 川島さん

うたごえぽっぽのメンバーは、一人暮らしの方が多いため、皆さんで集まって大きな声で歌えるのが楽しく、参加することで元気になれるという声があります。このように活動できるのは、協力してくれるメンバーと、何よりもハートぽっぽが場所を提供してくださるおかげです。

熱中症死亡者9割エアコン使用せず /

エアコン使用あり
12% (15名)



高齢者の孤立死は夏に急増します。

東京都監察医療院によると、令和5年にエアコン設置のあった屋内の熱中症死亡者127名のうち、88%がエアコンを使用していませんでした。

エアコンを使って、暑い夏を安全・快適に過ごしましょう。

熱中症による死亡を防ぐために

- 就寝時もエアコンは消さない
- のどが渇いていなくてもこまめに水分補給

気候変動適応対策 エアコン購入費補助金

補助金には条件があります。

環境政策課 管理係
TEL:03-3880-5935



あだち 絆づくり通信

Vol.34
2025.6.1



Interview
山口 とおるさん

たまりや
[溜屋近藤商店株式会社]

宝永3年（1706年）創業の葬儀会社。
北千住駅から徒歩8分の場所に自社式場を構える。従業員10名の地域に密着した企業形態。絆のあんしん協力機関として高齢者の見守りや、体操する場所を必要としている高齢者のグループに会社のホールを無償で提供している。

地域の人から必要とされる場所

足立区では、高齢者の孤立防止のために、商店や郵便局、医療機関などに絆のあんしん協力機関（以下協力機関）としてご登録いただいている。登録企業・団体の皆様は、日常の業務の中で高齢者を見守り、気になる高齢者に気づいたら地域包括支援センター（以下ホウカツ）へご連絡をしてください。さらに踏み込んだ活動として、地域の方の要望に応じて場所の提供や講師の派遣などもしていただいている。

今回は、場所の提供や講演会をしていただいている協力機関として、令和3年7月に登録された溜屋近藤商店株式会社の山口さんに、お話を伺いました。

遺されて一人になった高齢者の不安をなくしたい



④ 協力機関としてどのように見守り活動を行っていますか？

一人遺された高齢のお客様から生活のことなどについて相談を受けることがあるので、ホウカツと連携して対応していくことが多いです。これまでお二人ほどの情報をホウカツに提供しました。「一人暮らしになるので、少し様子を見に行った方がいいんじゃないですかね。」とホウカツにつなげ、実際にホウカツがその方を訪問して見守っています。また、相続やお金の管理の分野で不安をなくせるように、心配な方を司法書士や税理士といった機関につなげています。

必要としている人の思いに応え、地域に必要とされる会社へ

協力機関の活動の一つとして、ホウカツからの依頼のもと地域の方へ場所の提供をしていただくこともあります。溜屋近藤商店株式会社は、普段お食事をする場所であるホール3階を、日の出体操という高齢者のグループに月に1度提供してくださっています。

⑤ 場所を提供するに至った経緯や、場所の提供に関する業務について教えてください。

ホウカツ日の出の方から、「ちょっと広くて、体操ができるような場所ってないですか？」と相談を受けました。友引の日は火葬所が休みでホールが空いていたことと、地元の人に当社の式場を知ってほしいと社内でタイミング良く話していたことから、場所を

提供することを決めました。

当日私がするのはホールの鍵の開閉のみです。ちょうど空いている日に場所を使ってもらっているので、特に負担なく場所の提供ができています。

⑥ 場所を提供して何か良かったことはありますか？

正直なところ、日の出体操からのつながりで、何件か当社でご葬儀をやっていただきました。確実に会社の周知にはつながっていると思います。生きている間に顔の見える関係作りをしておいて、いざご葬儀となった時に少しでも不安なく進められるよう、ご葬儀について事前の相談が増えています。遺された方の不安をできるだけなくしたいという、溜屋の思いをかなえる一助にもなっているので、場所を提供して良かったと思います。



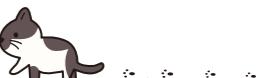
日の出体操は、毎月約10人が集まって1時間程度、椅子に座って体操をします

協力機関の活動は昔からしてきたことの延長上



山口さんと日の出体操代表の鈴木さんが話している様子

溜屋はずっと地元でやっているので、地域で困っている人のケアをしてあげたいという思いがあります。これまで社長がしてきたことを引き継ぎ、私が担当するようになってから協力機関に登録しました。そういう意味で、昔からしてきたことの延長上に現在の協力機関の活動があるんです。



日の出体操の声

グループ存続の危機を救った

もともとは、日ノ出町にある総合ボランティアセンターで活動していましたが、そこが使えなくなり、活動場所についてホウカツに相談したところ、溜屋さんを紹介していただきました。もしこちらの場所をお借りできなければ、日の出体操は解散していたと思います。溜屋さんのおかげで、3年半以上活動を続けることができています。



鈴木さんと栗原さん